

番 号	26	区 分	町指定文化財
種 別	無形民俗文化財	保 持 者	十二兼区
名 称	百万遍念仏		
指定年月日	昭和50年5月22日		
所 在 地	南木曾町読書（十二兼）		
概 要	<p>伝承によると、200年以上も前にこの付近に疫病がはやり、それを静める為に行ったのが始まりとの事である。中山観音堂の境内には、嘉永2年（1849）の「百万遍供養塔」と安政5年（1858）の「百万遍」の二基の石碑があり、十二兼（じゅうにかね）の百万遍念仏は、それ以前から実施されていたことがわかる。明治初期頃までは、大人も含めた全員が参加して行っていたそうであるが、徐々に子供が主体となり、現在は小学校一年生から中学校3年生までの男女生徒によって実施されている。毎年お盆に行われ、8月14日には男子、15日には女子が、部落の全戸を回って「南無阿弥陀仏」を唱えている。町内には、他に神戸に文政8年（1825）の「百万念仏塔」がある。百万遍念仏に用いられた大数珠も町内の各所に残っているが、現在実施されているのは十二兼だけである。</p>		